

救命



映像はこちら



稲永 辰己 議員が問う

命を守るAEDの設置状況は

補助金や助成金の活用を

質問を終えて

ホームページ上に公共施設以外のAEDの設置情報の発信と、区長への打診および24時間営業店舗へ打診を行なっていただきたい。

稲永 須恵町では、防災に関する理解は進んでいると思うが、命を守る救急救命対策としてAEDの設置状況を問う。購入したAEDの保守点検の実施は行われているか。

総務課長 医療従事者が居なくても適切な救急措置が行えるAEDの保守点検は、メーカーの使用期限に基づき実施している。

稲永 須恵町のホームページ上のAED設置場所検索では、公共施設12力所のみだが、民間施設等を含めた設置力所の公開はできないか。

総務課長 町が管理していないAEDの公開は考えていないが、日本緊急医療財団が全国AEDマップを公開しているので、周知を促したい。

稲永 災害から身を守ることや大切な命を守る訓練や講習は重要と考えるが、各組織において意識格差があるように

思う。共通認識としての情報共有は行っているか。

総務課長 一般住民へのAED使用が認められて20年経過した。その間、消防署員等の指導により訓練を行ってきた。そのつど情報交換も行われているが、AEDの情報交換共有については把握していない。しかし、AED講習体験者は毎年増えていると判断する。

稲永 町内にある24時間営業のコンビニ等のAEDの設置状況は。

総務課長 コンビニ等のAEDの設置状況は把握していない。

稲永 避難所としての機能を有し町民の憩いの場である公民館等や24時間営業店舗へAEDの設置の考えはあるか。

総務課長 コンビニには打診したが、協力は得られず、企業努力に頼るしかない。公民館等は、歴代区長に打診したが、設置には至っていない。AED設置希望の行政区等あれば自主防災補助金や分館助成金を活用して頂きたい。



役場庁舎正面玄関の横に佇むAEDくん。彼があなたの命を守ります。

福祉

今村 桂子 議員が問う

こども発達相談の取組は

民営化は考えていない

質問を終えて

「須恵町で良かった」との声が聞けるよう、今後も実践経験豊富な専門家による療育体制を継続してください。

映像はこちら



今村 小中学校の特別支援学級は年々増加傾向にあり、早期に療育に取組む事が重要な事例もある。就学前のこども発達相談について問う。支援に繋げる事業、相談数、健診などから支援に繋がった数は。

こども家庭課長 事業は主に1歳半・3歳児健診、巡回発達相談、窓口相談である。年間3歳児健診受診250件、健診時の臨床心理士による発達相談45件、巡回発達相談時38件あった。新規に町の療育に繋がった件数は33件である。

今村 2園の幼児園が民営化された後の巡回発達相談は、スムーズに実施されているか。

こども家庭課長 これまでどおり継続して実施している。

今村 療育事業の現状、定員、通所数、一人当たりの時間、回数、先生の資格と数を問う。

こども家庭課長 療育事業の

定員90名、8月末の通所71名。一人当たり90分で月2回〜3回である。先生は言語聴覚士、作業療法士、特別支援学校教諭、幼稚園教諭などの資格を有し、9名で療育事業を行う。

今村 療育事業の内容を問う。

こども家庭課長 臨床心理士の面談を終え、1対1の個別療育を行い、日々の生活がより過ごしやすくなるよう、それぞれの課題にあった支援を行う。グループ療育では小集団での活動で成功体験を積み、幼稚園・保育園への適応を促す。感覚統合療法をもとに運動、言語、コミュニケーション、社会性、集団適応など、様々な方法で支援を行っている。

今村 待機状況を問う。

こども家庭課長 今年度の待機は無い。臨床心理士の相談は、少し待って頂く事がある。

今村 須恵町は資格を持った



トランポリンやボールプール等を使用して運動



町長 20数年、皆が同じ土壌で頑張れる体制を整えてきた。民営化は考えていない。

こども家庭課長 民営化で営利目的の質低下も考えられる。

先生が対応し、大変評判が良く、町営の良さが活かしている。糟屋郡でも民間委託が増えているが、須恵町の療育事業は民間委託の可能性があるのか。